

しあわせ

愛情は時間で！？

校長 西山 守

天候が不安定ですが、運動会は明日開催予定です。ここまで石神井中学校の校長先生はじめ関係の皆様、本校PTA役員・保護者・地域の皆様にご支援ご協力いただき本当にありがとうございました。今後、急な変更があるかもしれませんがよろしくお願ひいたします。



会場が 別でも
気持ちは同じ 運動会
ゴール目指して
走り抜く

さて、私がまだ青年教師の頃、先輩に教えてもらったことは、その後の教員生活の支えにもなりました。その中で、子どもへの愛情についての教えがありました。

先輩「子どもは、愛情をかけて育てなければいけないのは、わかっているな。」

私「はい。」

先輩「では、その愛情の量をどう量る？」

私「……。」「よくわかりません。」

先輩「それは、時間だ。」「しかも、自分が自由に使える時間だ。それを子どものためにどれだけ使ったかによってわかる。」

私「はあ。そうですか。」

先輩「♪母さんが、夜なべをして、手袋編んでくれた〜。」「これは、最高の愛情だぞ。」

私「なるほど。」

忙しい現代人は、パソコンが起動する数秒間ですら、「遅い。時間の無駄。」と感じてしまいがち。そんな時代に、少し時代錯誤かもしれませんが、(夜なべ<夜業>って聞いたことありますか。)このことは、かなりの的を射ているように感じます。

子どものことを、気にかけて、目をかけ、心をかけてあげる。「忙しいから。大変だから。」などということを経由にせず、向き合っただけで。

これらのことができれば、夜なべをしなくてもいいのではないのでしょうか。

結果的に、子どもと向き合うことによって多少時間がとられ、その後、仕事や家事に追われ苦労してしまうこともあるでしょう。しかし、その苦労を苦労と感じないことも、愛情の証なのかもしれません。

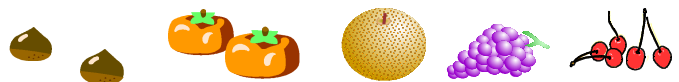
昔、担任していた子で、言動が粗野で落ち着きがない子がいました。家庭訪問にいきました。その子のお母さんは、こう話しました。

「私は、ボランティア活動をしています。この子が小さいときもやっていました。困っている方のためにがんばってきました。時間がなく、この子を抱きしめてやることもほとんどありませんでしたが、いつかこの活動の価値に気付いてくれるはずです。」

今、その子が気づいたかどうかは不明です。ただ、はなはだ不安です。

10月の行事予定

- 1日(月)都民の日
- 2日(火)委員会活動
- 4日(木)ユニセフ集会
- 8日(月)体育の日
- 9日(火)たてわり班活動 読書旬間(26日まで)
- 10日(水)特別時程 クラブ活動
- 11日(木)カリオスタット(5年) 歯科巡回指導(2年) 秋の歯科検診
- 13日(土)学校公開日 薬物乱用防止教室(6年)
- 15日(月)避難訓練
- 16日(火)安全指導



- 17日(水)オリパラ「勝ち飯」(5・6年) 午前授業(区全体研究会のため) 下校13:00
- 18日(木)インタビュー探検(2年)
- 22日(月)クラブ活動
- 23日(火)PTA運営委員会
- 24日(水)午前授業(校内研究会のため) 下校13:30(6の3は5時間目あり)
- 25日(木)お手伝い探検(2年) シェイクハートプロジェクト(4年)
- 29日(月)委員会活動
- 30日(火)音楽鑑賞教室

音楽鑑賞教室（10月30日）

今年度も、10月30日（火）に音楽鑑賞教室を実施します。生の演奏に触れ、豊かな心とともに鑑賞態度を養うことをねらいとしています。

演目は『ファンクション』です。打楽器を使った楽曲の演奏や、身の回りのものも楽器にしたリズムアンサンブルを楽しみます。

集金は口座引き落としにて行います。詳細は後日配布いたします別紙にてご確認ください。

読書旬間お知らせ

10月9日から10月26日は、読書旬間です。読書の秋。子供たちが本の世界を楽しんだり興味をもったりできるように、様々な取り組みを行います。

1、2年生は、図書ボランティアの皆さんによる読み聞かせ。3年生から4年生は、石神井図書館の方によるブックトークがあります。図書委員会もおすすめの本を紹介します。この期間に、家庭でも本に親しむ機会を作っていただけたらと思います。

生活総合発表のお知らせ

1年間の生活科・総合的な学習の時間（石小タイム）を振り返り、その成果を確かめるために、今年度も生活科・総合発表を各学年で行います。ぜひご参加ください。

日時：10月・11月・1月・2月の第2土曜日
（学校公開時）

※ 各学年の発表日時や内容は学年だよりでお知らせします。

研究授業報告（6年）

10月24日（水）、6年3組にて「ロレンゾの友達」という教材で道徳の授業を行いました。罪を犯したという噂が流れたロレンゾとの再会を前に3人の友達はロレンゾのためを思い、逃がすこと、自首をすすめることなどを話し合います。しかし、無実だったと分かったとき、ロレンゾを信じ切れてはいなかったということに気付きます。自分の意見をしっかりともち、友達と意見交流をしながら、友達を信じるとはどのようなことなのか、自分と友達との関係について振り返りました。友達を信じ抜くことの難しさを感じながらも、友達とよりよい関係を築くためにできることをそれぞれがしっかりと考えることができました。

職員の紹介

10月より勤務開始となる職員2名を紹介します。

学力向上支援講師 林 央咲子（はやし ひさこ）
（4・5・6年 算数担当）

臨時学校生活支援員 前田 久枝（まえだ ひさえ）
（昨年度も勤務いただきました。）

よろしく願います！

